

現状と課題

- グローバル化が進展するなか、アジア等の新興国の台頭
- 我が国は人口減少社会の到来により、労働力人口の減少と国内需要の縮小があいまって、経済活動が中長期的に低下していくことが懸念

日本の持続的成長のためには、東京が国際競争を勝ち抜き、日本経済を牽引し続ける必要

【今後の課題】

- 世界から資本・人材・情報が集まる魅力的な市場の創出
- 外国企業と国内企業の交流の場など、日本経済の活性化へと結び付ける仕組みづくり
- 外国人が暮らしやすい生活環境の整備
- イノベーションの源泉である新たな起業の創出と中小企業の活躍
- 旺盛な海外需要や2020年オリンピック・パラリンピック大会の経済効果など、中小企業による新たな成長機会の取り込み

日本経済の機関車である東京が、世界で一番ビジネスのしやすい都市として、激化する国際的な都市間競争を勝ち抜き、日本経済の持続的成長を牽引

主な政策展開

世界から資本・人材・情報が集まる国際ビジネス環境の創出

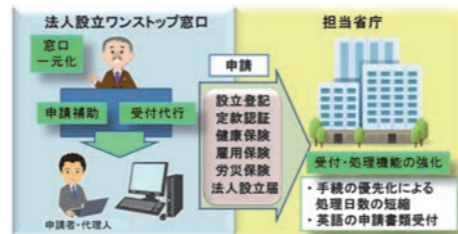
- ◆ グローバルな視点から魅力的なビジネス環境を整備
 - 10地区の国際的ビジネス拠点プロジェクトを国家戦略特区制度を活用し、スピーディーに展開

<10地区の国際的ビジネス拠点プロジェクト>



- 国家戦略特区制度を活用し、グローバル企業の法人設立手続の迅速化・簡素化など更なる規制緩和等を推進

<法人設立手続の迅速化等のイメージ>



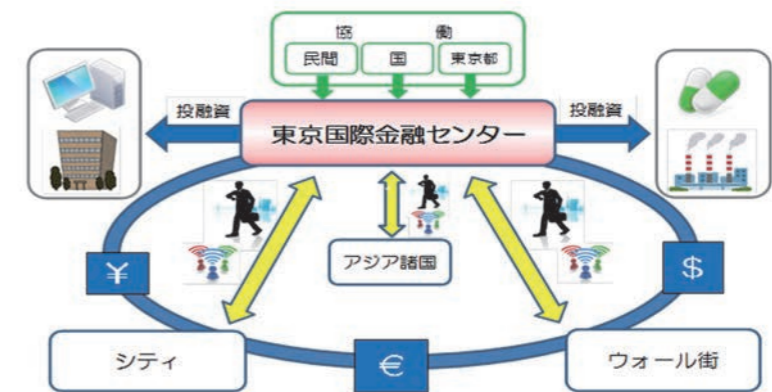
- 外国企業と国内企業との交流拠点の形成を促進し、新ビジネスが活発に生み出される魅力的な環境を整備
- 外国人対応の医療施設やインターナショナルスクールの整備を促進し、外国企業の従業員とその家族が安心して暮らせる環境の充実

【政策目標】

アジア地域の業務統括拠点・研究開発拠点50社を含む外国企業500社以上を特区内に誘致(2016年度)

- ◆ ニューヨーク、ロンドンと並ぶ国際金融センターへと復活
 経済の血液である金融の分野において、東京が国際的な金融センターとなることで、東京ひいては日本・アジアの経済を活性化

<東京国際金融センターのイメージ>



- 国際的なビジネス交流の場の創出(ビジネス交流拠点の活性化、国際金融会議の開催・誘致等)
- 官民連携ファンドの推進、官民連携(PPP)の事業拡大
- 首都大学東京大学院ビジネススクールにおける高度金融専門人材の養成

- ◆ 国際的なライフサイエンスビジネス拠点へと成長

- 高付加価値型である創薬をはじめとしたライフサイエンス分野において、産・学・公の連携によるビジネス交流拠点の形成を促進
- ベンチャーの創出と成長を促進
- 全都立・公社病院の診療データバンクを構築し、臨床研究や治験の環境整備を推進
- 国家戦略特区制度を活用し、世界最高水準の医療技術の実用化、ジェネリック医薬品審査の迅速化等を推進

起業の創出と中小企業の活躍により、東京が世界に先駆けた技術・製品・サービスを絶えず生み出すイノベーション都市となり、経済活動を活性化

おおむね 10 年後までに実現すること

都内の開業率が 10% 台に上昇(米国・英国並み)

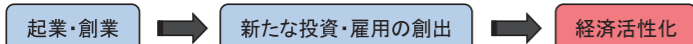
少子高齢化などの都市課題の解決に資する産業を東京のリーディング産業化

中小企業がアジア地域等の旺盛な海外需要や 2020 年大会の成長機会を取り込み、日本経済を活性化

主な政策展開

起業・創業の創出

開業率10%台(米国・英国並み)を目指し、経済を活性化



◆ 東京発・世界を変えるベンチャーの創出

- 優れた発想と高い志を持った起業家の卵を発掘・育成し、産業界の旗手となり得る起業家を輩出
- 革新的な起業家等が切磋琢磨するコミュニティの形成

◆ 幅広い層による多様な起業の創出

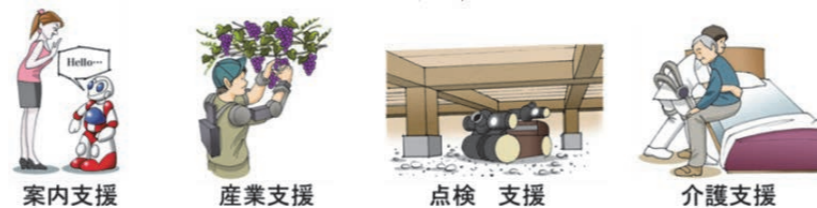
- 民間のインキュベータ(創業支援者)を活用し、起業家の卵の発掘・育成から成長段階まで一体的に支援
- 民間インキュベータ等への支援を通じ、優れた支援ノウハウを有するインキュベーション施設を更に拡充
- 若者、女性、高齢者による地域に根ざした起業の創出
- 国家戦略特区で、創業人材としての高度外国人材の受入促進など、外国人の創業環境を整備

中小企業による国内外の新たな成長機会の取り込み

◆ 成長産業分野の戦略的育成と中小企業の参入促進

[成長産業分野 例]

- 【都市課題関連産業】健康・医療、環境・エネルギー、危機管理等、都市課題関連産業への参入促進
- 【ロボット産業】産・学・公の新たな連携により、ロボット技術の開発・事業化を促進



- 【医療機器産業】ものづくり中小企業の技術と医療現場や医療機器製販業者等のニーズをマッチングする仕組みづくりを進め、製品開発・実用化を促進



- 【クリエイティブ産業】他産業との連携を促進し、新たなビジネスの創出等を促進
- 成長分野の参入に必要な設備投資等を促進

【政策目標】

都の支援による中小企業の成長産業分野への参入 1,000 件(2024 年度)

◆ 海外展開の更なる促進

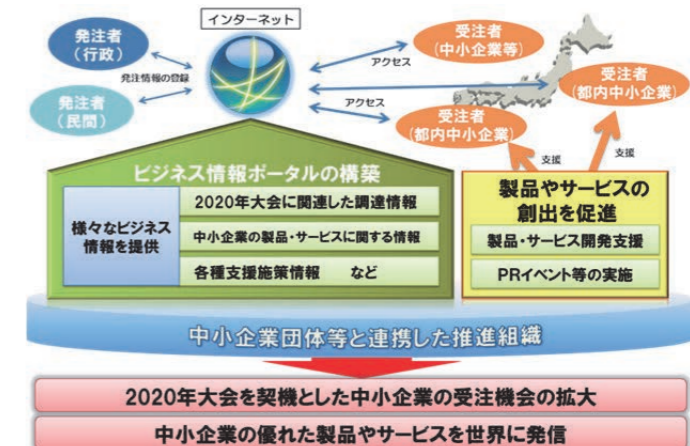
- タイに東京都中小企業振興公社の現地支援拠点を開設し、アジアの旺盛な需要の取り込みを促進
- 中小企業の海外展開を担う人材の育成等を促進
- 海外規格への対応、知的財産権の対策強化

【政策目標】

都の支援による中小企業の海外展開の実現 2,000 件(2024 年度)

◆ 2020 年大会を契機とした受注機会の拡大

- 大会関連の調達などにアクセスできるポータルサイトを構築し、東京のみならず全国の中小企業の受注機会を拡大
- 中小企業の優れた製品・サービスの開発を促進するとともに世界に発信



都心等における拠点駅の機能充実・強化

- ◆ 都心等の拠点駅において、周辺の交通機能等の適正な配置を考慮しながら、駅の再編等による交通基盤の充実・強化及び周辺市街地の再編整備を促進

(品川駅周辺のまちづくり)

- ◆ 羽田空港に近接し、リニア中央新幹線の始発駅という国内外への広域アクセスに優れた立地特性を生かした、国際交流拠点としてのまちづくり
 - 新駅設置や駅周辺道路などの基盤整備により、大規模な低未利用地を活用したビジネス拠点の形成を推進
 - 世界の人々を迎え入れ、先端技術や国際文化が交流するMICEの拠点形成を推進
 - 崖線の緑や運河の水辺など、地域の特色を生かした魅力的な生活環境を創出

＜品川駅周辺のまちづくり＞



これからの日本の成長を牽引する国際交流拠点にふさわしいまちづくりを推進

2020年大会後も見据えた臨海部のまちづくり

- ◆ ビジネスやMICE・国際観光拠点として東京の魅力を発信するまちづくりを推進

- 臨海副都心
環状2号線などの充実した交通インフラや大型クルーズ客船ふ頭を生かし、国際ビジネス拠点やMICE・国際観光拠点を形成
- 豊洲地区
首都圏の食を支える豊洲新市場を開場するとともに、千客万来施設や新たな船着場、水際緑地帯などの整備により、にぎわいを創出

＜豊洲地区のまちづくりイメージ＞



国内外からの来訪者への「おもてなし」機能を備え、業務・商業・住居機能が集積したまちを形成

有楽町地区のまちづくり

- ◆ 有楽町駅周辺において、民間開発との連携による旧都庁舎跡地を活用したまちづくりを展開
 - 東京国際フォーラムとの近接性や、観光資源の集積等を踏まえたMICE機能の充実
 - 歩行者の円滑な移動を支える安全で快適な公共空間の整備・改善
- ◆ 歩行者ネットワークの形成等により、駅東西間や、周辺地区との連携を強化



多様な機能が共存、集積する特性を生かした国際ビジネス・都市観光拠点の形成

北青山三丁目地区のまちづくり

- ◆ ファッションや文化等の施設が集積し、都心にありながら大規模な緑地も多い特色ある地域におけるまちづくり
 - 敷地面積約4haの老朽化した大規模団地である都営青山北町アパートを建替え、高層・集約化
 - 創出された用地を生かして青山通り沿道との一体的なまちづくりを進め、質の高い民間開発を誘導



周辺の豊かな「賑わい、文化、緑」をつなぐ、最先端の文化・流行の発信拠点を形成

都市再生ステップアップ・プロジェクト

- ◆ 民間活力を導入し、地区特性に応じ複数の所有地を一体的に活用するとともに、周辺開発を誘発し、まちづくりを促進する「都市再生ステップアップ・プロジェクト」を推進
 - 竹芝地区、渋谷地区(宮下町)

＜竹芝地区完成イメージ＞



多様な地域の将来像と都 市機能の充実・強化〔1〕

新宿



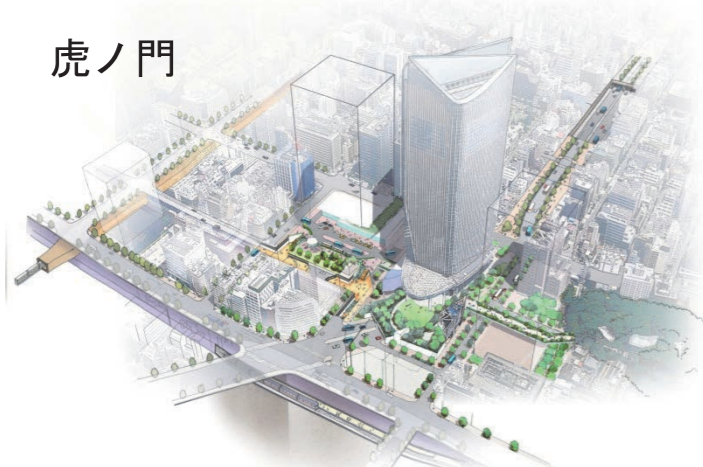
東京の発展を先導する
業務・交流・観光機能

渋谷



先進的な生活文化などの
情報発信拠点

虎ノ門



空港や臨海部とつながる
新たな交通結節点

品川



国際交 流の新拠点

竹芝



コンテンツ研究・人材育成拠点



大丸有



国際ビジネスハブ、首都にふさわしい
歴史と風格ある街並み

多様な地域の将来像と都市機能の充実・強化〔2〕

◆ 都心及び都心周辺部

- ① 大手町：国際金融拠点機能や、情報通信・メディア機能の融合及び通信基盤を生かした、新産業創造・国際ビジネスハブを形成
 - ・ 国際金融・ビジネス交流、国際観光・情報発信、高度防災等の拠点整備やMICE機能の強化に資する国際交流施設の整備促進
- ② 丸の内：復原された東京駅丸の内駅舎と、駅前広場や行幸通り及び周辺街区の建築物により、歴史と風格ある街並みを形成
 - ・ 丸の内駅前広場の整備により、首都にふさわしい景観形成を推進
- ③ 有楽町：駅周辺の機能更新が進み、業務、商業、文化・交流、MICEなど多様な機能が集積したにぎわいと回遊性のある国際色豊かな拠点を形成
 - ・ 都有地を活用した公民連携のまちづくりを展開
- ④ 八重洲：交通結節機能の強化、歩行者ネットワークの充実とともに、風格ある街並みを形成
 - ・ 丸の内側と八重洲側を結ぶ東西自由通路の整備による回遊性向上や大規模バスターミナルの整備による交通結節機能の強化
- ⑤ 日本橋：金融関連やライフサイエンス関連産業が集積し、宿泊・滞在・居住機能などを備えた国際金融・業務拠点を形成
 - ・ 産・学・公の連携により、民間の創意工夫を生かしたライフサイエンスビジネス交流拠点の形成を促進
- ⑥ 日比谷：中枢業務機能と商業・文化・交流機能とが複合したビジネス拠点を形成
 - ・ 日比谷公園と連携した災害対応、周辺の劇場と連携した文化芸術発信、ベンチャー企業育成のビジネス連携等の拠点整備を促進
- ⑦ 六本木：最先端の都市文化・情報を発信する拠点を形成するとともに、回遊性の高い、緑とにぎわいのある魅力的な複合空間を形成
 - ・ 地下鉄駅等との交通結節機能の強化及び「都心の森」に複合MICE施設や外国人等向けの居住、文化、教育等の生活環境の整備を促進
- ⑧ 虎ノ門：交通結節機能を強化するとともに、周辺市街地において国際的な生活環境を備えたビジネス・交流拠点を形成
 - ・ 新駅設置や新たなバスターミナルの整備により空港や臨海部とつながるハブを形成するとともに、居住、医療等の外国人向け生活支援施設の充実など周辺のまちづくりと併せて、都市機能が高度に集積した国際ビジネス拠点として整備
- ⑨ 品川：国際的なビジネス機能と、これを支える業務、商業、宿泊、居住、研究などの機能を備えた、先端技術が交流する国際的な新拠点を形成
 - ・ 国内外への広域アクセスに優れた立地を生かしたまちづくりを推進

- ⑩ 竹芝：民間活力を取り入れ、国際競争力の強化に資するビジネス拠点を形成
 - ・ 「都市再生ステップアップ・プロジェクト」により、複数の都有地を活用し、コンテンツ研究・人材育成拠点等と外国人居住者の生活支援施設等を一体整備するとともに、周辺開発を誘導し、まちづくりを推進
- ⑪ 築地：隅田川や浜離宮庭園などの観光資源や築地の伝統・文化を踏まえ、活気にぎわいのあるまちを形成
 - ・ 豊洲への市場移転後の土地利用の方向性及び土地活用方策を検討の上、具体化し、まちづくりを推進
- ⑫ 北青山：周辺の豊かな「賑わい・文化・緑」をつなぐ、最先端の文化・流行の三丁目発信拠点を形成
 - ・ 都有地を活用した青山通り沿道との一体的なまちづくりを推進
- ⑬ 新宿：乗降客数日本一のターミナル駅と商業集積を有する特性を生かし、東京の発展を先導する国際的な業務・交流・観光機能を担うまちを形成
 - ・ 東西自由通路の整備や駅前広場の再編により、回遊性の向上と併せて交通結節機能を強化
- ⑭ 渋谷：先進的な生活文化などの世界に開かれた情報発信の拠点を形成するとともに、歩いて楽しい安全・安心なまちを形成
 - ・ 鉄道改良事業や国道246号の拡幅等に併せ、多層階に分散した公共交通を結ぶ縦のバリアフリー動線や駅と周辺市街地を結ぶ歩行者デッキの整備などにより、歩行者にやさしいまちづくりを推進
- ⑮ 神宮外苑：新国立競技場の建設を契機として、多様な機能が集積するスポーツ・文化の拠点を形成
 - ・ 整備計画等を定め、新たな魅力・にぎわい・風格を兼ね備えたスポーツクラスターを実現するまちづくりを推進

◆ 臨海部

- ⑯ 臨海副都心：職・住・学・遊のバランスのとれた複合的なまちづくりにより、東京や東京圏に求められる新たな機能を備えた先導的な拠点を形成
 - ・ 交通インフラの充実などにより、MICE・国際観光拠点を形成
- ⑰ 豊洲：豊洲新市場の整備により先進的な市場流通を実現するとともに、緑地帯の整備等により魅力ある水際の都市空間を創出
 - ・ 観光やレクリエーション等によりにぎわいを創出し、隣接する臨海副都心地区との相乗効果を発揮するまちづくりを推進
- ⑱ 晴海：国際的なビジネス拠点を支える都市型居住ゾーンを形成
 - ・ 民間事業者のノウハウを引き出し、選手村のレガシーをはじめとして、住宅及び人々の交流機能を併せ持ったまちの形成を推進
- ⑲ 羽田空港跡地：産業・文化交流機能や宿泊機能、複合業務機能などを備え、空港と一体となった新拠点を形成
 - ・ 空港と隣接する立地を生かした空港跡地のまちづくりを国及び地元区と連携し推進